

## 令和 7 年度 神奈川県立横浜国際高等学校 第 2 回学校運営協議会 議事録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

名称	神奈川県立横浜国際高等学校 学校運営協議会
開催日時	令和 7 年 9 月 20 日（土）
開催場所	会議室
出席者 (役職名)	<p>水上 雅人（Leadership for Everyone 代表）</p> <p>岡田 行央（横浜国際高等学校 PTA 会長）</p> <p>小川 博芳（六ツ川上第二自治会会長）</p> <p>小松崎 徹（山王台西自治会会長）</p> <p>羽入田 眞一（本校初代校長）</p> <p>島 武彦（本校校長）</p> <p>（欠席）</p> <p>宮嶋 泰子（一般財団法人カルティベータ代表理事）</p> <p>海野 多枝（東京外国語大学大学院総合国際日本学研究院教授）</p> <p>西藤 聡一郎（六ツ川高等学校同窓会会長）</p>
会議内容	<p>○令和 7 年度学校目標及び本校の取組・議題等について （委員からの主な質問・意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今若者の海外離れが指摘される中、本校に海外への関心を持つ中学生が入学してくる理由や背景は何か。</li> <li>・ボランティア活動について、活動証明をどのように行っているか。</li> <li>・働き方改革、長時間勤務の是正の進捗状況はどうか。</li> <li>・横浜国際高校の生徒によるボランティア活動や地域のイベントへの協力など、地域への貢献に感謝している。</li> <li>・物品購入時に発生するポイント等を個人ではなく学校に付与されるような購入契約を模索することなどにより、私費会計処理の円滑化を図り、働き方改革につなげていくとよいのではないか。</li> <li>・長時間勤務は目標とする制限時間を設けるだけで解決できるわけではないが、まずは一定の制限を示し「旗を振る」ことで一定の効果は得られるのではないか。</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長より</li> <li>・グループ報告</li> <li>・YIS 祭パンフレット</li> </ul>
問合せ先	横浜国際高等学校 副校長 田代 045-721-1434
次回開催予定日	令和 8 年 3 月 16 日